

評価者	防災安全部長	服部 計利
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	駐輪対策の推進
目標とすべきまちの姿	必要な駐輪場が整備されていることにより、市民が自転車等を使って快適な移動を行っています。放置自転車対策が強化されたことにより、歩行者が安心して歩ける空間が確保されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	14.1%	平成30年度(2018年度)	14.7%	平成29年度(2017年度)	15.1%
	平成28年度(2016年度)	13.1%	平成27年度(2015年度)	13.7%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.4%	2.4%	0.2%
ちょうどよい	2.7%	47.4%	0.5%
効果不十分	5.0%	6.6%	12.8%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.0%	1.5%	0.0%
ちょうどよい	3.0%	48.3%	0.8%
効果不十分	4.6%	5.1%	14.9%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.8%	1.1%	0.0%
ちょうどよい	3.3%	46.4%	1.2%
効果不十分	5.8%	6.0%	14.6%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.0%	3.7%	0.2%
ちょうどよい	2.7%	47.4%	0.4%
効果不十分	3.6%	6.4%	16.0%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.1%	2.4%	0.3%
ちょうどよい	2.7%	46.5%	0.1%
効果不十分	5.0%	6.2%	15.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	23.4%	51.0%	5.9%	19.7%
平成30年度(2018年度)	24.8%	52.4%	3.6%	19.2%
平成29年度(2017年度)	27.4%	48.2%	4.2%	20.2%
平成28年度(2016年度)	26.5%	51.3%	4.4%	17.8%
平成27年度(2015年度)	27.8%	48.5%	3.9%	19.9%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

①大船駅東口においては、大船駅東口自転車等駐車を含め、引き続き駐輪場の整備を行い、放置自転車の防止と不足する駐輪場の増設を図る。(防安-10)
 ②大船駅周辺の駐輪場用地の確保について、引き続き検討を進めていく。(防安-10)
 ③歩行者が安心して歩ける空間を確保するため、放置自転車等防止対策として、引き続き監視員による監視を行い、放置自転車等の台数の更なる削減を目指す。(防安-10)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

①駐輪場を増設し、必要な駐輪場の整備を行なうことにより、自転車利用者が快適な移動を図ります。(防安-10)
 ②駐輪場用地を確保することにより、不足する駐輪場を増設し、市民が自転車等を使い、快適な移動を行うことができる。(防安-10)
 ③放置自転車防止対策として、監視員による監視を行い、放置自転車対策を強化することにより、歩行者が安心して歩ける空間確保を進める。(防安-10)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託事務	今後の方向性	
整理番号	事業名	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)		事業内容	予算規模
防安-10	放置自転車防止事業	50,877	44,698	1.6	1.6	無	b	B

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】
 ①大船駅東口暫定第1、第2及び第3駐輪場の施設延命化を図る改修工事を実施するとともに、大船駅東口駐輪場の老朽化調査を実施した。(防安-10)
 ②大船駅東口暫定第3駐輪場の1階部分を増設し、収容台数の拡充を図った。(防安-10)
 ③放置自転車防止対策業務委託について、これまで平日を基本としていた放置自転車等の監視活動を土日でも可能とする業務の見直しを図った。(防安-10)

【実施できなかった事業とその理由等】

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

- ・大船駅東口駐輪場の老朽化調査をはじめ、実施した事業については、当初予算内で、適切に実施できたことから、効率性については適切であったと評価した。(防安-10)
- ・大船駅東口暫定第1、第2及び第3駐輪場の予定していた改修等を実施できたことから、妥当性については適切であったと評価した。(防安-10)
- ・放置自転車等の発生件数は着実に減少していることで、その取組手法について適切な成果が得られていると評価した。(防安-10)
- ・受益者負担の原則に則り、駐輪場の管理運営に要する経費は利用料金で賄われていることから、公平性について、適切と評価した。(防安-10)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	防安-11	事業名	放置自転車防止事業							
指標の内容	本市内2箇所にある放置自転車保管場所で移動した放置自転車等の年間台数					単位	台	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
放置自転車等の減少により、歩行者が安心して歩ける空間の確保が可能になる。	目標値	3,400	2,400	2,300	2,200	2,100	2,000			
	実績値	2,514	1,956	1,600	1,658	1,448	1,157			
	達成率	73.9%	81.5%	69.6%	75.4%	69.0%	57.9%			